

スーパーグローバル大学創成支援事業 令和2年度中間評価結果

大 学 名	東北大学
整理番号	A02
構 想 名	東北大学グローバルイニシアティブ構想

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">S	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
(コメント)	<p>本構想は、「世界から尊敬される三十傑大学」を目標に掲げ、東北大学を中核とする「知の国際共同体」の形成や、卓越した教育研究を行うワールドクラスの大学への飛躍を目指すものである。事業採択後、スピントロニクスなど、東北大学の強みを生かした国際共同研究プログラムにより、世界トップレベルの研究拠点として、留学生の受け入れ及び海外留学が増加している。多くの研究実績を持ち、それらを基礎に「教育・研究改革」、「国際化」を進展させようと努力した結果であり、世界最高レベルの教育体制として、高く評価できる。</p> <p>大学院には、国内学生向けの国際共同大学院プログラムを、留学生向けの大学院国際学位コースを設置し、国際共修の展開を開始した。その結果、国際共同大学院プログラムでの海外留学派遣数が30倍に拡大、留学生向けの大学院国際コース数の約2倍への増加、授業科目数の約2倍への増加となり、国際共修の展開が大学院で成功している。学部学生向けには、国内学生向けの東北大学グローバルリーダー育成プログラム(TGLプログラム)により、平成25年度の642名から、令和元年度の3,304名へと約5倍の参加者数に増加、留学生向けの国際学士コースにおける外国語による授業科目数も増加された。</p> <p>また、国際混住型の学生寄宿舎を建設し、その宿舎での国際共修環境の構築が学生のグローバル意識向上に繋がっている。加えて、全専任教員に占める外国籍教員数が増員され、また、20の海外有力大学とのJointly Supervised Degree(JSD)等に関する覚書を締結した。事業開始後、大学間協定に基づく派遣学生数は約2.8倍に、通年での外国人留学生数は約1.7倍に増加している。</p> <p>スピントロニクスに加えて、材料科学、環境・地球科学、宇宙創成物理学、生命科学、災害科学・安全学、データ科学、機械科学技術、日本学の9つのプログラムを、国際共同大学院プログラムとして、本事業開始後の4年半で設置している。世界のオンリーワンの大学として、国際的に高く評価される研究分野について、当初計画のプログラムを上回って成功している。構想実現のための体制が優れていたものとして、高く評価できる。</p> <p>財政支援期間終了後を見据えた自走化については、学内予算の内在化及び外部資金の獲得や産学連携等により、内部・外部の資金を見据えた方策が考えられていることが評価でき、今後はその取組の成果を更に発展させることが望まれる。</p>